



### 新年を迎えて

学長 井尻昭夫

## 混迷の時代 確かな歩みを

新年おめでとう  
ございます。

新しい年を迎え、  
皆様それぞれの思  
いを抱いておられ  
ることでしょう。

時は流れ、社会  
の移り変わりも加  
速化し、情報化社  
会の進展につれて

生活圏は知らず知らずのうちに広がりを見せてきている。これにともない、いまや学ばなければならない事が年々歳々増えてきているように思えて仕方ない。ふとそんな気持ちに追い込まれる。確かに、我々を取り巻く周辺を見ても、変化が大きいことに感づく。それこそテレビや新聞を介して得られる情報には、「もの知り」という点においては十分な情報を、いとも簡単に入手できる状況におかれている。最近のこの状況を捉え、一億総評論家時代と特徴づけるものも現れる始末である。確かに、その環境は準備されていることは疑う余地はない。問題は評論の質である。というのも、誰もが情報入手する立場におかれていることを踏まえれば、評論を行うことは可能であろう。しかし、その結果としての評論たる質の問題となれば話は異なってくる。情報を正しく理解し判断できるものでなければ評論家としての「仕事」はできないし、評論そのものの社会的価値を産み出すことはできない。ましてや知的情報を提供する大学においては情報の発信および受信の両面において、「情報」におおられることなく歩む毅然とした姿勢が求められよう。

新年おめでとう  
ございます。

新しい年を迎え、  
皆様それぞれの思  
いを抱いておられ  
ることでしょう。

時は流れ、社会  
の移り変わりも加  
速化し、情報化社  
会の進展につれて

として高学歴化社会の台頭を挙げることができ、いまや大学社会は収容定員と志願者人口が並ぶ、いわば全入時代を迎えるにいたっている。この事態は重大な問題を生み出したすなわち、これまで大学は進学希望者を選抜できる環境にあったがいまやそれは逆転し、学生が大学を選ぶ時代が到来している。そこには少子化社会の台頭と、いまだに大学側に収容定員増という動きがあるからに他ならない。その結果生じる問題は「学生の質の低下」という問題である。これまでは大学側が学生を選抜することで学生の「質」を確保することができた。しかし、全入時代においてはそれができなくなった。もつともマクロ的な視点でのことであるが、今日ではこの問題が大きくクローズアップしてきた。この流れの中で、我々もまた、この「学生の質の保証」にむけて努力することが求められ、しかも四年間にわたって体系的な学習ができていくかどうか、学習結果としてのアウトカムの十分な質が保証されるものであるかどうか、が問われている。一般社会に見られるメーカーに製品の品質保証が求められているように、我々もまた、同じくアウトカムの品質保証が問われる時代を迎えるにいたっている。そのことをしっかりと認識せねばならない。さらに、激動する社会の中では知識の陳腐化がよりいっそう加速化しており、たえず磨きをかけることが必要とされる。この面においても新たな展開と、よりいっそうの努力を払わなければならないまい。ともあれ、各人が己に課せられた使命を全うすることが肝要である。しかる後に学部学科の社会的使命の遂行が問われなければならない。このためにカリキュラムの再点検、アウトカムの明示化、それに向けての継続的な努力の傾注が大きな課題である。全学挙げて我々に課せられた使命を軸がぶれることなく積極的に進めてゆきたいと考える。皆さんの英知とご尽力を期待したい。

#### CONTENTS

##### 〈商大トピック〉

- 「地域公開シンポジウム」開催
- 後楽館高校体験授業
- 大学祭開催

##### 〈アジアリポート〉

- アジアビジネス専攻第二期生の様子

##### 〈孔子学院便り〉

- 「京劇講演会」開催

##### 〈就職便り〉

- 昨今の就職状況について

# 商大トピック

Topic

1

## 保護者懇談会開催

恒例となった2008年度保護者懇談会が開催され(9月6日(土))、会場となった岡山商科大学7号館には140名を超える保護者の方が参加されました。今年度は例年にも増して関心が高く、事前に参加希望の返事をいただいていた方のほぼ100%の方が出席されるなど、スタッフ一同うれしき驚きとなりました。中には関東地方からはるばる参加された方もおられました。当日参加いただいた方にはこの場をお借りして改めてお礼申し上げます。

当日会場でご記入いただいたアンケートには、皆様の思いが詰まっており、教職員一同今後の参考にさせていただきますと思います。(総務企画課)

### 【Q&A~当日アンケートから】

**Q.年度が変わる時期の大学ホームページのシラバス、時間割の発表時期をもう少し早めにして欲しい。**

A.例年、冊子の配布日は3月中旬から下旬にかけての時期に行っております。各種冊子の発行およびホームページへのPDFリンクは、時間割調整の都合上、どうしてもこの時期となっております。しかし、ホームページより行うシラバス検索については、例年3月上旬には行えるようになっておりますので、各種冊子が完成するまではこちらから閲覧いただければと思います。(教務課)

**Q.ネットワークを活用した教育情報サービスの提供について、家庭用PC、または保護者からアクセスできるようにして欲しいのですが…**

A.現在、本学には「講義案内システム」というシステムがあります。学生個人の履修科目の一覧や休講・補講・教室変更、講義掲示板といった情報は家庭用PCからも閲覧が可能となっております。しかし、成績情報や学生情報については、セキュリティの関係上、学内のPCでしか閲覧が行えないようになっております。また、保護者の方からのアクセスについては、学生本人へは毎年この「講義案内システム」用のパスワードを配布しておりますので、ご本人からこのパスワードをお聞きになり、ご利用いただければと思います。(教務課)

**Q.保護者会の個別面談時間の事前通知ハガキについて、時間だけでなく順番もお知らせいただきたい。**

A.ご提案ありがとうございます。面談時間の通知は今年度から始めたものですが、おかげさまで好評をいただきました。来年度からはご指摘の通り順番もお知らせし、より皆様の利便を図りたいと思いますので、今後も個別面談をご活用ください。(総務企画課)

Topic

2

## 職員研修実施

2008年9月17日(水)、毎年行われている職員研修の一環として、備前市にある「閑谷学校」を訪れました。

(財)特別史跡田閑谷学校顕彰保存会の日笠事務局長より、閑谷学校の歴史や建物の配置についての講義を受けた後、日笠氏の案内により建物を見学しました。湿気を建物から逃すための特異な造り、重要な書物を火事による延焼から守るための創意工夫など、池田光政氏が建築にかけた想いが随所に感じられました。

続いて、本堂の中での「座学」に移りました。

孔子の「論語」の一節を解説を聴きながら唱えていくと、「無心」の境地になり、また自分達も時間をさかのぼり、江戸時代の書生のような気持ちにさえなりました。岡山はこの閑谷学校や吉備真備に代表されるように中国と縁の深い地であり、とりわけ本学では2007年11月に「岡山商科大学孔子学院」を開設し、中国語や文化の普及に努めており、今回の研修は本学職員として改めて「孔子」という人物の偉大さを認識させられる良い機会となりました。

最後に、特に本学学生を始めとする若者に知って欲しい論語の一節を紹介しましょう。

「子曰、弟子入則孝、出則弟、謹而信、汎愛衆而親仁、行有餘力、則以學文」

(訳)

「先生がいわれた。若者よ、家庭では孝行、外では悌順、慎んで誠実にしなうえ、誰でも広く愛して仁の人に親しめ。そのようにしてなお余裕があれば、そこで書物を学ぶことだ」

※悌順(ていじゆん) 兄または長上につかえて従順なこと。(総務企画課)

孔子の「論語」の一節を解説を聴きながら唱えていくと、「無心」の境地になり、また自分達も時間をさかのぼり、江戸時代の書生のような気持ちにさえなりました。岡山はこの閑谷学校や吉備真備に代表されるように中国と縁の深い地であり、とりわけ本学では2007年11月に「岡山商科大学孔子学院」を開設し、中国語や文化の普及に努めており、今回の研修は本学職員として改めて「孔子」という人物の偉大さを認識させられる良い機会となりました。

最後に、特に本学学生を始めとする若者に知って欲しい論語の一節を紹介しましょう。

「子曰、弟子入則孝、出則弟、謹而信、汎愛衆而親仁、行有餘力、則以學文」

(訳)

「先生がいわれた。若者よ、家庭では孝行、外では悌順、慎んで誠実にしなうえ、誰でも広く愛して仁の人に親しめ。そのようにしてなお余裕があれば、そこで書物を学ぶことだ」

※悌順(ていじゆん) 兄または長上につかえて従順なこと。(総務企画課)

Topic

3

## 前期卒業式挙行

2008年9月18日、本館大会議室において前期卒業式を挙行しました。学部生は商学部9名(商学科6名、産業経営学科1名、国際観光学科2名)、法経学部5名(法学科1名、経済学科4名)の計14名、大学院生は商学専攻科1名、法学研究科3名、計4名の学生が井尻学長から一人一人修了証書を受け取り、勉学に励んだ学舎を後にしました。(総務企画課)

Topic

4

## 京山中学校から職場体験受入

2008年9月17日(水)から19日(金)の3日間、京山中学校の2年生、藤井祐帆さん、兵藤優香さん、片山理沙さんの3名が、本学での「職場体験学習」を行いました。3名は、図書館、入試課、就職課へ配属されましたが、図書館では、中学校とは比べ物にならないくらいたくさんの本があることに驚き、図書館を管理するのがいかに大変か思い知らされてきました。入試課では、これからの将来についてアドバイスを受け、就職課では、企業への訪問に同行してもらい、その社内の雰囲気を感じたことと、将来に向けての良い経験となったようです。(総務企画課)

2008年9月17日(水)から19日(金)の3日間、京山中学校の2年生、藤井祐帆さん、兵藤優香さん、片山理沙さんの3名が、本学での「職場体験学習」を行いました。3名は、図書館、入試課、就職課へ配属されましたが、図書館では、中学校とは比べ物にならないくらいたくさんの本があることに驚き、図書館を管理するのがいかに大変か思い知らされてきました。入試課では、これからの将来についてアドバイスを受け、就職課では、企業への訪問に同行してもらい、その社内の雰囲気を感じたことと、将来に向けての良い経験となったようです。(総務企画課)

Topic

5

## 大学院後期入学式挙行

2008年度大学院後期入学式が9月25日(木)10時30分より本館大会議室において挙行され、11名が入学しました。

- ◇商学研究科9名(うち社会人1名)
- ◇法学研究科2名(うち社会人2名)

(教務課大学院係)

Topic

6

## ゴミ袋有料化についての説明会実施

2008年12月11日(木)に4号館421番教室で、2009年2月1日から始まる岡山市の「ゴミ有料化」について説明会を開催しました。四本部の学生の協力と全学メール、ピラ配り等で周知徹底をし、学生動員を図りました。「いかにすれば多くの学生が参加してくれるか」を協議した結果、7種類の方法で対応しました。

当日は「ゴミ有料化」に関する説明会講師として岡山市職員、カ竹様からゴミの減らし方やゴミの分別方法、資源としての活用方法などについての説明があり、550名もの学生参加があり、感心の高さが伺える説明会となりました。続いて、後期学生総会も開催

当日は「ゴミ有料化」に関する説明会講師として岡山市職員、カ竹様からゴミの減らし方やゴミの分別方法、資源としての活用方法などについての説明があり、550名もの学生参加があり、感心の高さが伺える説明会となりました。続いて、後期学生総会も開催

## 岡山後楽館高校が体験授業に参加

僕は、経済の仕組みに興味があったので、岡山商科大学で経済学を中心に授業を体験しました。本物の大学の授業を受けて、気づいたことがたくさんありました。

その中で一番驚いたことは、授業の仕方、先生ごとに個性が強いことです。パワーポイントを用いて授業を進める先生、きちんとした板書を中心に授業を進める先生、説明とコミュニケーションを中心に授業を進める先生など、先生ごとに授業の進め方が違うのです。これが高校の授業とは違う大学の特徴だと感じました。

次に気がついたことは、学ぶ目的です。高校の学習では、受験や就職といった目先の目的にどうしても重点を置きがちになりますが、大学では、もっと長期的に広い視野から、社会で生きていくために必要となる一般的な教養や専門的な知識を学んでいけるような気がしました。

だから、やる気のある人はほとんど成長できる場所だと思っています。

今回の体験授業で、大学とはどのようなところなのか、そして経済学とはどのような学問なのか、少しだけですが、分かったように感じました。これからの進路決定に役立てていきたいと思っています。

(岡山市立岡山後楽館高等学校 田村侑士)

Topic

8

## 第43回大学祭「大喝采」開催!

2008年10月25日(土)~26日(日)の2日間、本学にとって最大のイベントともいえる大学祭が開催されました。

「大喝采~Special Thanks~」をテーマに、大学祭実行本部を中心とした学友会四本部や各サークルが手作りの中に温かみや感謝の意を込めた大学祭となるよう、一年近くをかけて準備してきたものです。

オープニングは恒例の鏡割りに始まり、カラオケ大会やビンゴゲームが行われ、各サークルやゼミなどで出店したテントでは一生懸命に商品を売り込んだり、みんなで協力して商品を作るなど、大学祭ならではの微笑ましい光景も見られました。

2日目のプロコンサートではテレビなどにも出演している「SHAKALABBITS」が登場し、開演前から会場となった体育館前には長蛇の列が出来ていました。小雨がぱらつくあいにくの空模様ながらも、大学祭に関わった全ての学生の顔には安堵感とともに、充実感が漂っていました。

た。商大祭にご来場いただいた方、またご協力をいただいた方にごこの場をお借りし、今年のテーマどおり、「Special Thanks」を申し上げます。(総務企画課)

Topic

9

## 商大売店リニューアルオープン!

今までご利用いただいていた大学売店がより一層の品揃え等、内容を充実して一新し

ました。

特に、店内改装で従来からご要望のあった栄養ドリンク等の医薬部外品コーナーを新たに設けるとともに、BOOKコーナーは情報関係の冊子の充実を入れました。

更には、生活必需品として文具等、学生生活に欠かせない品物も多種多様にわたって品揃えしております。変わったところでは「おつまみコーナー」も用意させていただいておりますのでご利用ください。

また、オープニングセールが3日間盛大に行われ、各商品大幅なサービスプライスで提供いたしました。なお、イベントの一つとして店内に特製のフランスパンが飾られ、「重量当選」クイズに多数の応募があり、5名の学生に当選のクリスマスケーキが送られました。(学生課)

## Topic 10

### 井尻学長「おかやま適塾」で講演

2008年11月12日(水)、「第38回おかやま適塾」が山陽新聞社「さん太ホール」で開かれ、本学の井尻昭夫学長が「変貌する大学の姿」のテーマで講演をし、財界、一般、教育機関関係者ら180名の参加がありました。井尻学長は大学のあるべき姿について「外の情報を吸収し、変化する社会と呼吸する人材を育てていく機関でなくてはならない。」と述べられました。

聴講者からは「データを中心に非常に分かりやすい内容で良かった」「大学の置かれた状況を聞く良い機会になった」などの言葉をいただき、大盛会となりました。(総務企画課)

## Topic 11

### 商業高校との意見交換会開催

期日:2008年8月26日(火)

出席者:県内商業高校校長6名および本学学長、副学長、学部長等8名

まず、商大、高校それぞれの側から、取組の現状について紹介をして共通理解を深めました。その後、意見交換に入り、大学及び本学に求めることや、本学が高校に協力支援できること等について、忌憚のない意見交換をしました。

今回初めての試みでしたが、出席者の中には知己の人もかなりいて、中身のある意見交換ができ、また、本音の話も出て有意義な会となりました。高大間意思疎通という点からも、今後定例化できればと考えています。

(商学部講師 武元卓巳)

## Topic 12

### 「地域公開シンポジウム」開催

「地域再生支援センター」は、本学が商学部、法学部、経済学部の3学部体制となった2005年4月に設立されました。本学が新体制となったことを契機に地域貢献を目的として、地域の構成メンバーである自治体や企業、地域住民の皆様の地域づくりを支援しています。

センターの主要事業は3事業あります。第1に、政策提言事業。現在、モデル事業として、岡山県新庄村と協定を結び、同村に対する徹底した調査を基に、政策提言などを実施しています。第2に、人材育成事業。ここでは、行政関係者や

NPO関係者、地域住民などを対象に、今回紹介するシンポジウムやセミナー開催などを行っています。第3に、自治体や地域住民からの受託調査事業。ここでは、岡山市や津山市、赤磐市、

和気町などから行財政改革の支援要請を受けており、助言や提言などを行っています。

地域公開シンポジウムは、中国地方で初めて開催されました日本地域経済学会岡山大会のプログラムの一部として、2008年11月29日(土)

に本学の781教室で開催されました。参加者は県内の市町村の首長をはじめ、行政関係者や議会関係者、NPOや企業関係者、地域住民、そして大学の研究者など約150人でした。当日は、年末のご多忙の時期にもかかわらず、これだけの人数の参加がありましたことにまず感謝いたします。

今回のシンポジウムのテーマは「中国山地再生への課題一過疎からの脱却を目指して」です。我が国は2005年より人口減少社会に突入していますが、中国地方は既に1995年をピークに人口減少が始まっています。そうした中、中国地方では、都市と農山村の地域間格差がますます拡大し、集落崩壊の危機、活力低下や担い手不足などの地域存続の危機に直面しています。このような状況の中で、中国地方が存続していくためには、中国地方の中で大きな面積を占める中国山地の再生が重要です。シンポジウムでは、喫緊の課題と位置づけられる中国山地の地域振興のあり方について、中国山地の現状を確認し、中国山地再生の処方箋を展覧しました。パネルディスカッションでは、筆者をコーディネーターとして、明治大学農学部教授の小田切徳美氏、島根県山中間地域研究センター地域研究グループ科長の藤山浩氏、岡山県新庄村長の笹野寛氏、ひろしまNPOセンター代表理事の安藤周治氏の4人の論者により活発に意見交換が行われました。地域再生支援センターは、このシンポジウムで確認された提案の実現を目指して、今後も活動を続けていきます。(地域再生支援センター長・経済学部教授 多田憲一郎)

## Topic 13

### ベストプラクティス賞

2008年12月10日(木)、恒例の「年忘れ懇親会」において「ベストプラクティス賞」の表彰がおこなわれた。本賞は、学生による授業評価アンケート結果を活用して本学自己点検・評価委員会によって作成された「学内GPランキング」において最上位を占めた教員を表彰するもので、今回は2008年度前期授業評価に基づき、佐井至道(経済学部)、蒲和重(商学部)、今井成男(商学部)の各教員が受賞しました。なお、各受賞者

による授業の工夫(プラクティス)については、同日懇親会に先立ちFDの一環として開催された「全学教職員会議」において報告がありました。(商学部教授 山口博幸)

## Topic 14

### 大連外大孫学長、本学孔子学院にて講話

2008年11月22日(土)、大連外国語学院大学孫学長が本学に來校され、図書館棟5階孔子学院教室において大連外国語学院大学からの留学生に向けて講話がありました。

孫学長は私達の顔を見て、まずほっとされた表情をされるとともに「あなた方が岡山商科大学に留学出来たのは幸せな事です」と述べられ、昨年の春から留学している私も嬉しく思いました。また孫学長は私達留学生に対して「日本での日

本語の勉強とともに、日本の伝統文化に触れる事、さらに多くの日本人との交流」を心から望んでおられ、多面的な勉強をすることの重要性を教えてくださいました。

私は、このような「一生懸命話をしてくださる孫学長の優しさ」に強く心を打たれ、自分自身に自信を持つ事が出来るようになりました。今回の孫学長の講話だけでなく、この商大での留学経験を一生の宝として、これからも頑張っていきたいと思っております。(商学部 3年生 石夢婷)

## Topic 15

### RSKラジオ「商大孔子学院」放送開始!

2009年1月8日(木)より、RSKラジオ「にっちも、さっちも、ラジオヤジ」の番組内にて「商大孔子学院」のコーナーがスタートしました。岡山商科大学孔子学院副学長・商学部准教授の黎曉妮先生によるワンポイント中国語レッスンや関係者による中国や商大に関する耳より情報など聴きどころ満載です!毎週木曜日14時30分からはRSKラジオに耳を傾けてください!(孔子学院)

## Topic 16

### 第38回「100研究室訪問」開催

大学と企業を結びつけ、新しい製品やサービスを生み出すことを目的として行われる「100研究室訪問」事業が去る2008年12月5日(金)に本学産学官連携センターで開催されました。この事業は岡山県産学官連携推進会議所掌の元で、岡山県中小企業団体中央会及び岡山大学が計画立案し、平成16年から実施され、今回で第38回になります。これまでは「技術シーズ」を持つ大学を中心に事業が行われており、社会科学系大学としては本学が初めての開催となりました。大崎産学官連携センター長・小松原教授が社会科学系の産学官連携の特徴や事例紹介などを行い、商品の販路拡大や新しいサービスを開発したいという企業の関係者など約25名の方に参加をいただきました。(産学官連携センター)

## Topic 17

### 本学FPの特色

2008年4月より、本学商学部商学科(2009年度より経営学部商学科)に「ファイナンシャルプランニング(FP)専攻」を新設しました。本年度この専攻では、前期にオムニバス形式の入門科目を開講し、様々な学問の観点から学術用語や金融問題の講義を行い、後期からはFP技能検定試験対応科目として2科目スタートしています。

このFP専攻新設に先駆け、2007年度から「FP技能検定試験対応科目」を設置し、合格率の向上を目指し指導をしていますが、本学における受検結果の累計は次の通りで、他の一般の合格率を上回る成績を残すことができています。

#### ◎FP技能検定受検結果(累計)

等級	学科・実技	受検者数	合格者数	合格率
3級	学科	32	25	78.13%
	実技	36	20	55.56%

◎3級ファイナンシャル・プランニング技能士資格取得者 20名

等級	学科・実技	受検者数	合格者数	合格率
2級	学科	9	5	55.56%
	実技	4	2	50.00%

◎2級ファイナンシャル・プランニング技能士資格取得者 2名  
(2008年11月現在)

また、FPに特化した専攻は全国的に見ても新しい試みですので、特色を存分に発揮していきたいと考えています。そのひとつとして、FPアワーと題し後期に3回、月曜日の夕刻を利用し、①おかやま信用金庫、②野村證券、③中国銀行の方にミニ講演会をしていただきました。専攻生およびFP関連科目受講者のうち、各回30~40名程度の学生が参加し、実際の体験談を踏まえた業界の話や学生として就職へ向けての心構えなど、学生に近い視点で講演いただきました。比較的學生にとって年齢の近い入社10年未満の方のお話ということから親近感を持ちながら聴くことができ、業界に関する知識を深めるとともに、職業意欲の創出、今後の学習へ向けての動機付けに大いに役立ったと思います。2009年度については、前期、後期に各6回の計12回。地元金融業界の現場で働く方に来ていただく予定にしています。

これに留まらず、FP専攻では、学生とのコミュニケーションの面でも週一回の昼食をとりながらのランチミーティングや学生vs教職員によるボウリング大会、夏季合宿を行いました。さらに、FP専攻開設記念講演会ではマネックス証券株式会社の松本大社長に講演をいただき、その後、学生との対話の時間も持ていただきました。そのほか、日本銀行岡山支店や日興コーディアル証券岡山支店への企業見学会など多彩な企画を実施しました。

今後も「学生のために、そして学生とともに歩む」という姿勢を崩さず、発展的に新しいことにチャレンジしていきたいと考えています。(商学部FP専攻)

# 作家の視点

江戸川乱歩賞作家

石井敏弘

本学非常勤講師(第十七期商学部卒)

## 時代を分ける(その一)

時代の節目にきていることを、多くの人が感じているのではないのでしょうか。

それまで比較的平穏な状況を保っていた世界は、昨年末から急転直下、瓦解という表現がふさわしいような荒れようです。

百年に一度の危機というようなことが、最近よく言われますが、たしかに大きなサイクルの中では、それまで有効に機能していたシステムや関係性では今後を維持できなくなっていく時が、必然的に到来するよう思えます。現在の金融・経済のシステムも、これから先、五十年百年を見据えたとき、すでに老朽化しているのかも知れません。

推理小説の世界でも、同様な波はあるように思いますが。最初、ポーが「モルグ街の殺人」を著して以降、探偵小説はコナン・ドイルの偉大な業績によって、世界的に広まってきました。しかし、天才型の名探偵が活躍する物語は、その後、世界的には急速に姿を消して行きます。そしてクロワツなどによって開拓された、新しいタイプの真実の究明者が登場するようになります。

それはリアリティのある刑事であったり、新聞記者であったり、また他の様々な職業の、まさに現実的にいそうなキャラクターが、名探偵のように超越的な頭脳と閃きで解決するのではなく、自分の足や目や耳を使って、地道に捜査を行うことによって、真実に到達するといふものです。

これは天才型名探偵の物語を作り続けられ、いずれ袋小路に入ってしまうことが、作家たちには本能的に分かっていたかも知れません。なぜなら人を驚嘆させうるだけの謎やトリックはそうそう作れるものではなく、また驚きに慣れた読者に驚かせ続けるには、さらにアクトバットなことをしなければならず、それはとりもなおさず作家の首を絞めることになっていくからです。

ですが、リアリティ溢れる物語もまた、やがては飽和状態に達し、その枠組みが打ち破られるときが来るでしょう。一つの時代の分かれ目となっている現代、物語にも大きな質的変化が起きるかも知れません。

# 商師会 だより

商師会とは・・・岡山商科大学商学部の卒業生で構成される組織で、現在高等学校などで教鞭をとる県内外約二百名の教員が所属している。



玉野市立  
玉野商業高等学校  
校長 内田 太

岡山商科大学を昭和51年3月に卒業後、新見商業高校を振出し新見北高校西方分校、新見北高校、玉野商業高校、倉敷商業高校、矢掛商業高校、そして、2度目の玉野商業高校と勤務をしてきました。本校は教諭時代を含め11年の勤務となっています。私にとって思い

れの強い学校です。本校の活動の一環を紹介します。

本校は、地域とともに歩みつける商業高校です。その主たる使命は、地域産業・地域社会への貢献にあります。ビジネス教育を学ぶ子どもたちに、地域を理解させ、地域を体験させる。そして、地域のもてる教育資材や人材を活用し、「社会人としての基礎力」を向上させ、職業観・労働観を身につけさせる。このように本校は将来、「社会に貢献する力」を身につけさせることに努めています。そのような中、平成19年度文部科学省より「目指せスペシャリスト」(通称スーパー専門高校)事業の指定を受けました。この事業では、将来社会に貢献できる人材を育成することを中心的な課題としました。そして、そのプロジェクト名を「DREL(ドリル)プロジェクト」と称することにしました。DRELプロジェクトは次の英単語の頭文字を取っています。

**D**ynamism: (校内外の活力ある行動を促す)

**R**eflection: (事実を把握し、再考する態度を養う)

**L**ink: (中学と大学、中学と社会、その仲立ちとしての在り方を確立する)

プロジェクトの大きな目標の一つとして「社会人としてのマナーの育成」を挙げ、特に、その中で生徒個々の基本的な生活習慣を確立させ、「日本一マナー」のよい学校をめざし、良識ある生産者・消費者を育成し、社会に貢献できる社会人を育成することにしました。

「人づくり」を標榜している本校は、諸活動を体系的に構築し実践させていく必要があると考えています。実践的な諸活動はあくまでも生徒の体験です。生徒の実践的な体験とおして生徒の「強いところ」を育てる。「強いところ」は、社会に貢献できる社会人を育成することができるものと考えています。「強いところ」を育てるための一つの手段として「清掃活動」を本校では取り上げてみました。

ゴミを捨てない、ゴミが落ちていたら拾う。出会う人に対してあいさつをする。履物が乱れていればそれをそろえる。小さなことを徹底してやり抜く。このような平凡なことの継続の中から「強いところ」が育成されるものと考えています。

平成20年4月20日高松農業高校で「岡山掃除に学ぶ会」の定例会が開催されました。この会の参加者は92名と多くの方が集まり

も参加者の1人でした。

トイレ掃除で私は、「水こし」を担当しました。この掃除をとおして、「鍵山秀三郎」氏がいわれていた「トイレ掃除の心得は、思い切った素手で行うことです。目というものは、非常に臆病にできていますが手は勇気があります。汚いものでも、一度触ってしまえば何ともないものです。」が実感できました。

確かに最初は「汚い」と感じるのは事実です。しかし、気がつくただ無心に「水こし」に向かって汚れを落としている自分がそこにいました。徐々に汚れが落ち、きれいになることに、自分が美しくした「水こし」に愛着がもてるほどになりました。作業が終了し、交流会で「岡山掃除に学ぶ会」の会員のみなさんと会話をする中で、新たに気づいたことがあります「素手素足で汚いところをきれいにする」ことによって「自分の先入観を壊す」ことができたのでしょうか。その後の日常生活の中でも様々な気づきを得ることができるようになったと思います。

「人間はダイヤモンドの原石のようなものである」(松下幸之助)といわれている。ダイヤモンドの原石も人間も同じように考えられるのではないのでしょうか。どちらも本質的には光り輝く要素を内包しているものと思います。ダイヤの原石は同じ硬度を持つダイヤで研磨され初めて輝き得、カットの工夫で最大限の光を放つようになります。人間は人と人が互いにコミュニケーションをとりながら切磋琢磨することによって、こころの光が増していくのではないのでしょうか。生徒1人ひとりが感動できるシステムを経験することによって、こころの光が増し「強いところ」が育つ一助になるものと考えています。

天台宗の開祖である最澄は「忘己利他」(モウコリタ)ということばを述べています。このことばは、自分を無にして小さなことでよいから他人のためになることをしなさい。そうすることによってこころが輝き、強いところができると説いてるように思われます。最澄の教えのように「己を忘れて、他人の利益になる行いをする」という、「忘己利他」(モウコリタ)のことばを小さな勇気と強い心を持って他の人のためになることを実践できる生徒の育成を目指していきたいと思っています。

エッセー  
数珠つなぎ

## 「私の健康法」

法学部講師 渡辺 渡

### <その1> 愛人弁当

私の最大の健康法は、愛人弁当にある。

健康には様々な要素がある。現在、病を患っていない人を一般的に健康という。しかし、一見健康そうであるが、潜在的に病の要素を持っている人は意外と多い。特に、加齢とともにその比率が高まることを止めるすべはない。恐怖である。

そこで、潜在的な要素を症状として出さない方策が有効である。その一番の方法は、ストレスを溜めないことである。

私にとって、ストレスを溜めない最大の方法が、愛人弁当と、愛人弁当の手洗いなのである。

愛情がこもり、栄養バランスが整っている弁当(残り物がよくあるが)をいただき、感謝の気持ちとして、心を込めてキレイに洗って返すのである。もし、洗わずに返すものならば、相手は確実に不機嫌な顔をし、いやみを言われ、ストレスが溜まる。

家庭内の和を保ち、かつ、ストレスを溜めない、すなわち健康の秘訣は、愛人弁当とその手洗いにこそあるのである。

なお、私にとって愛人とは、愛する人=妻のことである。くれぐれも誤解のないように。

### <その2> ドク・ホリディ

ストレスを溜めないもう一つの方法がドク・ホリディである。

私は酒豪ではない。しかし、酒は百薬の長と言われる如く、適度に飲めば健康に大変有効であると思っている。ただ飲み方に注意しなければいけない。遊び心とリズムが大切である。

遊び心とリズムは、心身に適度な刺激を与え、硬直した心と体をほぐしてくれるのである。

平日は、軽い晩酌程度に抑え、休肝日をおく。休日は、ドクドクとグラスに満たし、時間をかけてゆっくりと味わいながら飲む。SF映画でも鑑賞しながらだと、いつか夢は宇宙を駆け巡っている。

このように、リズムを付けながら酒をたしなむことこそ、有効な健康法なのである。

私はこれを、ドク・ホリディと称している。ドクドクと休日=ホリディに飲むからである。

ちなみに、ドク・ホリディとは、「荒野の決闘」「OK牧場」「ワイアット・アープ」に登場する早撃ちガンマンのことでもある。

# Asia Report アジアレポート

## 留学生生活を終えて日本での生活

商学部商学科 アジアビジネス専攻 2年生 宮嶋将嵩

1年間の留学生生活を終え、2年生では主に商業、英語、中国語といった様々な分野の学習に励んでいます。

大体の授業は学校により指定されていますが、指定されていない時間に苦手分野の英語の授業をたくさん入れました。理由はTOEICなどでよい成績を習得すれば、就職するときに役立つと思ったからです。前期も後期も週4日で英語の講義を取りました。そして家へ帰ってから英語と中国語の勉強を続けており、学校外では、アルバイトをしつつ、留学中に始めたギター、高校の時していたテニスなどを適度に頑張っています。

留学中に頑張った中国語が今はどれほど進歩しているのかわからないので、中国語検定を受けて自分がどのレベルにあるのか確かめてみようと思います。また来年は検定やTOEICなどで良い成績を出す事が出来るよう日々努力を続けていこうと思っています。

## 第二期アジアビジネス専攻研修生の様子

商学部 准教授 松浦美佐子

大連外国語学院へ留学中のアジアビジネス専攻1年生に、ビジネス概論Ⅱの集中講義と授業参観・学生面談を行なうため、11月中旬、晩秋の大連を訪れました。

後期から、中国語の授業は、各学生の語学力に応じてクラス分けされ、韓国人・ロシア人留学生の多いクラスや、日本人留学生の多いクラスなど様々です。商大生の履修している中級クラスには日本から退職後に留学されている方も数名おり、国籍や年齢が多様なクラス編成になっています。

また、後期から履修が始まった選択科目も参観しました。商大生は武術、習字、中国料理、中国語を履修し、日本や韓国の他大学の留学生とともに学んでいます。他にも太極拳や二胡などがあります。詳しくは商大ホームページのアジアビジネス専攻のブログをご覧ください。

集中講義では、ビジネスにおける異文化理解の重要性を、日本企業のケーススタディを交えて学びました。学問としての異文化コミュニケーション理論が、学生の中国生活での体験と重なる部分も多く、8ヶ月の中国生活を客観的に見直す時間になったと思います。

## 孔子学院 便り

### メイク実演に参加して

11月26日、私は岡山商科大学主催の京劇講演会に参加しました。

講師の李先生は歩く姿がとても美しく、見てこちらまで背筋がスツとするような美しい歩き方で出てこられました。

私は事前にメイクの体験をさせて貰う事が決まっていたので、前半、李先生が京劇の紹介をされている間もほとんど上の空でメイクの事ばかりを考えていました。

メイク実演は、DVDを流している間に、別室で化粧をしてもらってから会場に出るのかと思っていましたが、実際は講演をした同じ場所での実演でした。

まさか大勢の前ですとは思っていなかったもので、かなり恥ずかしい思いをしたことがもともと印象的だったかもしれません。

後で、一緒にメイク体験をした友達もぼしていましたが、シャンプーハットを被せられた時はあまりの恥ずかしさに顔から火が出るかと思った程です。

しかし、メイクを終えるなどこからともなく湧いてくる達成感と充実感が笑みがこぼれました。

会場の通路を歩くと、「写真お願いします!」と大勢の人に声を掛けられます。

京劇のメイクは私を素顔の「私」とは別人にするようで、写真の大嫌いな「私」を声のするほうに向かせる魔法でもありました。

生まれて初めて写真を撮って下さい」と言われ、自分達が「見られているのだ」と言うことを四方八方からの視線に感じられました。

一生にそう何度も体験できることではありません。

最初はメイクをしてもらうことに迷いもありましたが、やってもらって正解だったと思いました。

これを機に、他国の文化に積極的に触れていこうと思いました。素晴らしい体験をありがとうございました。(中原さし)



京劇の役者(李萍氏)と記念撮影。写真左が中原さん。

### 訪中団《大連・旅順4日間》旅行記①

大連外国語大学の招聘による「岡山商科大学孔子学院訪中団 大連・旅順4日間の旅」に私は家内と2人で参加しました。

私は69歳になった昨年の4月から、孔子学院で中国語を学んでおります。

この年齢で続けられるか不安を感じておりましたが、挨拶や町歩きに必要な初歩的な会話の課程が終わった頃のこの旅行は、私にとって、今までの勉強の成果を試す絶好のチャンスでした。

旅程の最後に組まれていたオプションツアーを欠席して、その日を家内と2人で自由行動をすることにしました。

この日の目標は、①公共の交通機関で移動すること。②2人の会話以外は全て中国語で通すこと。実力不相応の目標ですが、これがこの旅行を生涯忘れられないものになりました。

バスでの移動に大汗を流し、身振り手振りに助けられたり、相手が気の毒がって日本語を使ってくれたりしましたが、考えていた以上の中国語会話ができ、理解してもらえ、食事や買い物にも不自由せず、家内の私を見る目も少し変わったように思います。

帰ってから家族や友人に、「あの時はどうなることかと思った」とか、「相手の困った顔が面白かった」とか、土産話に花を咲かせることができました。

孔子学院も勉強する楽しさを感じながら一年間続いております。私はこの旅行を「孔子学院課外研修旅行」と名付けて、大切な思い出として残していきたいと思っています。

同行のメンバーの方々や、招聘していただいた大連外国語大学の皆様、私の下手な中国語を親切に聞いていただいた大連市の皆様(「謝謝!」)。

(中国語講座受講生 三宅伸一郎)

### 訪中団《大連・旅順4日間》旅行記②

岡山空港を飛び立ち、大連到着!想像をはるかに超えた都市の大きさに驚きました!

広場の周辺には日本統治時代の建物が多くあって、夜ともなればライトアップされとても美しく、私にとっては一押し場所となりました。皆さま是非、夜訪れてください。

また、漢学院(岡山商大生の留学先)にも立ち寄り学院長の案内で教室など見て回りました。エジプト人留学生や欧米人らしき留学生も多く勉学に動いているように見受けました。

「孔子のふるさと」・曲阜は、人口65万人、その中の20%は孔子の子孫だそうです。また徒歩で中華民族の祖先一黄帝一の出身地で、春秋戦国時代に魯国の都として800年に渡り栄華を誇っただけの建物・彫刻物を徒歩で拝見しました。さすがに曲阜は、中国の儒教の創設者、教育家・孔子の古里としてすばらしく大掛かり建築、建設にとっても感激しました!

私のイチオシ、大連も満喫しました。大連港は満鉄大連埠頭事務所や満州の玄関として多くの旅行者を見ることが出来ました。中山広場は、広場の中心の丸いモニュメントがとても印象的です。

今後は孔子学院関係者の皆様のご支援を頂き、中国語講座を通じ、語学に精進し中国全土の「世界遺産巡り」を続けることができれば、この上ない幸せと存じます。

(中国語講座受講生 三船郁夫)



旅順「203高地」にて現地老人の話聞く訪中団一行

サクセスを勝ち取ろう!

# 就職 便り

Okayama Shoka University

## 合同就職合宿 ～岡山商大・四国学院大～ 昨夏開催!

厳選採用の就職環境において、学生が自らキャリアデザインを考え、厳しい就職戦線乗り越えるための就職合宿が2008年9月17日・18日の2日間、四国学院大学(普通寺市)を会場として開催しました。今回で5年目を迎える本学の就職合宿、今年初めて四国学院大学との合同合宿として開催しました。当日は中四国地方の大学で合同合宿開催は初めてということもあり、多数のテレビや新聞などの取材がありました。合宿では、両大の就職課スタッフが講師となり、「就職活動について」、「面接講座」、「ディスカッション講座」、そして企業から内定が出ている先輩学生からの就活体験談を聞くなどを行いました。

また、情報交換会では、両大の学生が「就職」というテーマのもとコミュニケーションを取りあい、新しい情報の共有など有意義な時間を過ごしました。参加した学生からは「他大学の学生達と就職について考えることができ大変よかった。」などの声が聞かれました。

●日時:2008年9月17日(水)・18日(木)

■1日目

時間	テーマ・講師
10:20	開会・オリエンテーション
10:45	「就職活動の進め方」 (術毎日コミュニケーションズ 坂田隆氏)
12:30	昼食
13:30	「就職活動心構え」 四学院大 教学事務部長・平井俊広
15:30	「面接・マナー対策」 四学院大 学生支援センター・主任 鎌田一也
17:00	「グループディスカッション対策」 岡山商大 就職課・主任 岡部泰正
19:00	情報交換懇親会
21:30	就寝

■2日目

時間	テーマ・講師
8:30	「普通寺市内文化探訪」 四学院大 学生支援センター・主任 鎌田一也
10:00	内々定者就職活動体験談
11:00	レポート作成
12:00	昼食
13:15	学生決意表明
15:00	まとめ・閉会



模擬集団面接の様子

## 2月・3月学内合同 企業説明会開催

企業と学生との出会いの最大のチャンスである学内合同企業説明会を下記の通り開催いたします。この厳しい状況の中にも関わらず、例年同様(約170社)の参加企業が参加されます。

なぜこの状況で去年と同数の参加企業が集まったのか…理由として、企業側がより早くより良い「人財」を絞って採用しようとする動きと、本学OB等の活躍により商科大学の学生



昨年の様子

を高く評価しているという2つの点が考えられます。つまり多くの企業が本学の学生に期待をして、学内合同企業説明会に参加されるということです。それは言い換えると、本学学生にとって、この場はどの説明会よりも最大のチャンスです!!

去年に比べると、就職活動は大変厳しいものになっています。しかし、採用数はゼロではありません。現に今回の学内合同企業説明会には多くの業界・業種から参加されます。学生の皆さんがこの大きなチャンスを逃さぬよう積極的に足を運ぶよう期待しております。

●日時・場所:2月4日(水)・5日(木)、3月4日(水) 13:00～16:00・学生会館1・2F

●対象:2010年3月卒業予定者

## 同時開催! 「企業訪問報告会& 学内合説解説会」

学内合説開催日の午前中には、当日学内合説に参加する企業の解説会を開催します。また、昨年12月から実施している就職部スタッフによる企業訪問の報告会もあわせて行います。

●日時・場所:2月4日(水)、5日(木)・9:30～12:00、3月4日(水)・10:30～12:00、各日とも772番教室

●対象:2010年3月卒業予定者

●その他:2月5日(木)11:00～は、中国地域ニュービジネス協議会会員企業の8社の人事担当者も加わり、企業プレゼンテーションを実施します。

## 昨今の就職状況について

一昨年あたりから、「就職氷河期」を脱し、「就職売り手市場」といわれるようになり、マスコミ各社は学生優位(売り手市場)を伝えていた。しかし、昨年(2008年)秋口からアメリカのサブプライムローン、リーマンブラザーズの破綻、円高等々、景気が急激に後退し、就職活動状況も一変した。具体的には、秋口まで本学へ届いた求人件数は前年度比1割増で推移していたが以降前年度の約半数と激減した。内定率の推移は前年度をやや上回っていたが、最終的には厳しい結果となる可能性が高くなるものと懸念される。

一方、来春(現3年生)を対象とした求人募集活動状況は、早期化が一段と進み合同企業説明会(現3年生対象)が都心部では10月から始まり、岡山でも11月末(昨年度は年明けの1月から開催)から開催された。本学への求人も早期化されており、昨年を上回るペースで求人票は頂いている。ただ、企業訪問等から得た情報では、求人数を増加させる企業は皆無であり、減少させるか或いは景気減退により採用計画を明確に打ち出せないといわれる企業がほとんどである。来年度は非常に厳しい状況を覚悟する必要があると思われる。より一層の厳選採用の傾向は明確になるものと予想される。厳しい話ばかりであるが、考え方を変えれば大きなチャンスかもしれない。厳選採用ということは、採用されれば、競争相手も少ないということになり、早い時期に責任ある仕事に就け、やりがいを持ち社会生活を送れることになるのではと考える。厳しい状況下では、攻めの姿勢が重要であり、失敗を恐れず、積極的に企業にアプローチすることと打たれ強くなるのがカギになると思われる。

# キャンパス キャンパス

商大・学生魂ここにあり!

## 赤い羽根共同募金

●学友会本部副会長 4年 白井敏彦

昨年も共同募金運動(赤い羽根共同募金運動)が10月1日から12月31日の間に展開されました。

赤い羽根共同募金運動は主に、市町村社会福祉協議会が実施する在宅福祉サービス事業や、ボランティア育成事業、児童の事故防止、青少年の健全育成、民間社会福祉施設の整備支援などに活かされます。

私は10月1日に岡山駅前周辺で開催された赤い羽根共同募金の街頭運動に参加しました。太陽が照りつける中、街頭で赤い羽根共同募金の協力の呼びかけをしました。

初めは声を掛けても募金箱に入れてもらえなかったのが不安でしたが、それでも諦めずに声を掛けていくうちに募金箱にお金を入れてくれるようになりました。また、募金をしてくださった方に赤い羽根をつける時に「ありがとう」や「社会のために役立ててください」といった温かい言葉をいただきました。

この活動を通して「社会のために役立つことは大事なんだな」ということを感じました。これからも、社会のために役立てるようにボランティアを続けていこうと改めて思うようになりました。



## 交通安全ボランティア

●法学部 白井敏彦

私は、2008年9月22日(月)秋の交通安全運動に参加しました。運動では、主に自転車に乗っている人に交通マナーの順守や、自転車の安全運転を呼びかけました。

私は、岡山市に住むようになり4年になりますが、改めて自転車の交通量の多さにびっくりしました。



この運動を通して改めて交通安全の大切さを実感しました。これからも交通安全の大切さを広く訴えていきたいと思っています。

## サークル紹介

### ■ X-Sports サークル

2008年5月に「X-Sports」サークルを立ち上げました。「X-Sports」とは、エクストリームスポーツの略称で、過激でクールなスポーツの事を言います。主にインラインスケート・スケートボード・BMX、スキー・スノーボード・サーフィンもこのX-Sportsになります。この競技は知っている様で知らない人が多いので、大学のサークルとして活動し、みんなに知ってもらおうと思いはじめました。

部長である私がインラインスケートでプロとして活動しておりインストラクターの経験もあり、現在は運動公園などで、一般の方と一緒にインラインスケートをしています。

冬にはみんなで雪山に行き、スキーやスノーボードを楽しみたいと思っています。

未経験の方でも歓迎しますので、是非入部して下さい。

(商学部 井口皓一)

### ■ isi 同好会

私たち「isi同好会」は、つい最近結成したばかりの同好会です。学生生活を充実したい人が、日商簿記検定や情報処理技術者試験など各種検定を中心に個人のスキルを向上させたいと考えたことから同好会としてスタートしました。

部員同士で得意分野を共有し、お互いに意欲を高め合ったり、人と人との繋がりを目指しています。

何となく授業を受けるのではなく、将来を見据えて自分を磨いてみたい人や、何か挑戦してみたくて仲間が欲しい人など、新人部員を募集しています。

(商学部 榎本正太)

## 平成21年度免許状更新講習開設のお知らせ

本学では、主に高等学校商業科教員を対象とした免許状更新講習を平成21年度から開設します(現在文部科学省に申請中)。詳細は平成21年2月下旬以降に本学ホームページに掲載します。受講申込時期は4月下旬を予定しています。

本学ご卒業の先生で平成21年度に更新講習受講をお考えの方は、この機会に母校のキャンパスで学んでいただけたらと思います。

●教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項(選択領域)

日程	講座名	時間	主な対象	募集人数
平成21年 8月19日(水)	「国際金融・Webサービスの最新動向 (国際経済・経営情報)」	6時間	高(商業) 教員	30名
平成21年 8月20日(木)	「マーケティング・会計の最新動向 (流通ビジネス・簿記会計)」	6時間	高(商業) 教員	30名

\*1日(6時間)を1講座とし、講座ごとに申込を受け付けます。(受講料:1講座6,000円)  
\*受講対象者は、平成23年3月31日に修了確認期限を迎える現職教員(主に商業科教員)の方で、平成23年3月31日現在、満35歳、45歳、55歳の方。

免許更新制に関する詳細は、文部科学省教員免許更新制ホームページ([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm))をご参照ください。

■問い合わせ先 岡山商科大学教務課

T E L 086-256-6653 FAX086-256-6649

E-Mail [kyomuka@po.osu.ac.jp](mailto:kyomuka@po.osu.ac.jp)

## 2008年度後期 吉備創生カレッジ

### ■笠岡諸島の歴史と文化

講師 佐藤昭嗣(商学部准教授)

場所 山陽新聞本社ビル6階

時間 15:30~17:00

内容 笠岡諸島の古代・中世・近世を中心に取り上げ、瀬戸内の島々の歴史をわかりやすく紹介する。島おこしの現状と将来への展望を併せて紹介する。

- 1回目 2009年2月27日(金) 瀬戸内の島々と笠岡諸島
- 2回目 2009年3月13日(金) 笠岡諸島の歴史と文化(1)
- 3回目 2009年3月27日(金) 笠岡諸島の歴史と文化(2)

※詳しくは吉備創生カレッジホームページまで。

<http://www.consortium-okayama.jp/kibi-sousei.html>

## 卒業記念パーティー開催のお知らせ

来る平成21年3月22日、卒業式に合わせて、13時から本学学生会館1階食堂において「卒業記念パーティー」を開催いたします。パーティーを通して卒業生の方々に先生方を始め、後輩たちと一緒に歓談いただき、本学の良き思い出にさせていただくため、卒業記念パーティーを実施します。当日は参加費無料で軽食をご用意しておりますので、卒業生の方はお誘い合わせのうえ、奮ってご参加ください。

(卒業記念パーティー実行委員会 実行委員長 三好康太)

## 2008年度末～2009年度始めにかけての学事日程

行 事	月 日
卒業式 (10時30分～)	3月22日(日)
入学式 (10時30分～)	4月3日(金)
新入生オリエンテーション	4月3日(金)・6日(月)・7日(火)
編入生オリエンテーション	4月6日(月)
在学生オリエンテーション (4年次生)	4月6日(月)
〃 (2・3年次生)	4月7日(火)
英語以外の外国語申込み (17時まで)	1次募集:4月7日(火)、2次募集:8日(水)
前期講義開始	4月8日(水)
テキスト販売 (10時～16時30分)	4月8日(水)～17日(金)のうち指定する日
健康診断 (4年次生・編入生)	4月6日(月)
〃 (2年次生・3年次生)	4月7日(火)・8日(水)
〃 (1年次生・4年次生予備日)	4月9日(木)
〃 (全学年対象 予備日)	4月10日(金)
教職課程説明会 (16時30分～)	4月9日(木)
学芸員課程説明会 (16時30分～)	4月10日(金)
前期インターンシップ・実践学習オリエンテーション (16時30分～)	4月10日(金)
履修届提出指定日 (16時30分まで)	4月15日(水)～17日(金)

### ●年2回の履修登録

2009年度から履修登録の方法が変わります。今年度までは、4月に1年間分の登録を行っていましたが、来年度からは4月と10月の年2回、前期・後期それぞれに行うこととなります。これにより、今まで以上に、それぞれの学修計画に沿って履修を組むことができ、また習熟度に応じた軌道修正もしやすくなるのが期待されます。年2回履修登録については、4月のオリエンテーション(後期開始前の9月にも実施予定)で詳しく説明しますので、学生の皆さんは必ず出席しましょう。

### 【在学生オリエンテーション実施日】

4年次生 :2009年4月6日(月)  
2年次生・3年次生:2009年4月7日(火)  
※実施時刻・場所については、現在調整中です。後日、メール配信でお知らせします。

## 産学官連携センター＜活動事例紹介＞

### 「笠岡諸島における持続可能社会を基本にした振興策の研究」 (笠岡市・NPO法人かさおか島づくり海社、2008.9～2009.3)

**担当教員:**研究代表者・大崎紘一(商学部教授)、今井成男(商学部教授)、佐藤昭嗣(商学部准教授)、田中勝次(経済学部教授)

**外部研究者:**鳴本浩二氏(海社理事長)、藤原巧二氏(〃事務局長)、天野美彦氏(〃会員)、網本善光氏(〃会員)、藤井敏生氏(〃会員)、守屋基範氏(〃会員)

岡山県笠岡市とNPO法人かさおか島づくり海社との間で協力協定を結び、人口減少化という環境のもとで、笠岡諸島の生活環境を子孫の時代まで残していくためにはどのような地域作りが必要か次の視点から共同研究を行っています。

- (1)産業(一次、二次、三次)、経済、観光、文化・歴史を統合した持続可能な笠岡諸島としての地域振興策の提言
- (2)4シーズンにわたる笠岡諸島訪問による調査・研究
- (3)若い人の視点を重視し、学生参加型の研究活動

研究の方向性としては、①訪島者へのアンケート調査や宿泊施設経営者へのインタビュー、②笠岡諸島の文化・歴史の調査、③地域産業・経済、地域情報のヒヤリング調査分析、④地域情報発信のための世界発信のできる情報地図の作成(GoogleMap)などのアプローチを行っています。

去る11月15日には、研究者、学生、産学官連携センター職員が白石島・真鍋島・北木島などを訪問し、研究テーマに沿った調査、ヒヤリングなどを行いました。



GPS計測による遊歩道の情報(白石島)

Image©2008 TerraMetrics  
Image©2008 ZENRIN  
Image©Google

## 孔子学院中国語講座 募集

### ～中国政府認定講師による本格的中国語講座～

- 開催日:2009年4月13日(月)～8月3日(月)
- 開催場所:岡山商科大学孔子学院図書館棟5階
- 講義時間:19時00分～20時30分  
(昼は14時40分～16時10分)

■お問い合わせ・お申し込みは...

〒700-8601岡山市津島京町2丁目10-1(岡山商科大学内)  
TEL.086-252-0642(代)

クラス	週1回、全15回 ※講座の詳細内容については孔子学院までお気軽にお問い合わせください。
入門コース	
初級コース	
中級コース	
上級コース	

## 叙勲

平成20年秋の叙勲におきまして、元法経学部教授で本学名誉教授の安居洋先生が瑞宝中綬章を受章されました。おめでとうございます。



発行所

岡山商科大学  
〒700-8601岡山市津島京町2丁目10-1  
電話(086)252-10642(代)

印刷

山陽印刷株式会社